

第3次佐用町総合計画 ～策定に向けて～

【佐用町の現状を共有】

佐用町役場 企画防災課 まちづくり企画室

自分にとって、
“豊かさ・幸せ”となるものは何ですか？

これまでの時代は、
量の多さ = 豊かさ・幸せの象徴

会議に入るその前に…

これからは今までの“豊さ・幸せ”だと思う価値観を変えていく
必要がある時代になってきます。

今後の計画づくりには、今までの価値観を変えて考えていく必
要があることを念頭に置いて一緒に考えていきましょう！

総合計画と縮充のまちづくり

○第3次総合計画の柱:縮充のまちづくり

～今後の佐用町全体のめざす方向性～

“小さくても、少なくとも こころ豊かでしあわせ”

例えば

- ◆楽しくつながる
- ◆やってみたいが叶う
- ◆みんなが主人公
- ◆身の丈に合った見直し
- ◆さようが好き

総合計画とは？

総合計画

- 総合計画は地方自治体の全ての計画の基本
- 地域づくりの最上位に位置づけられる計画

総合計画の構成 基本構想、基本計画、実施計画で構成

基本構想

佐用町の特性や課題を総合的に考え、めざす将来像とその実現に向けた基本目標や施策項目、施策のおもとを示したもの(10年間の方針)

基本計画

基本構想に基づき、今後推進する主要な施策や具体的な数値による成果指標等を示したもので、成果指標により計画の評価を行う(5年程度の計画)

実施計画

基本計画に基づき、具体的に実施する事業の内容や財源等を示したもの

総合計画とは？

総合計画

- 総合計画は地方自治体の全ての計画の基本
- 地域づくりの最上位に位置づけられる計画

総合計画の構成 基本構想、基本計画、実施計画で構成

こここの部分をつくります

基本構想

佐用町の特性や課題を総合的に考え、めざす将来像とその実現に向けた基本目標や施策項目、施策のおもとを示したもの(10年間の方針)

基本計画

基本構想に基づき、今後推進する主要な施策や具体的な数値による成果指標等を示したもので、成果指標により計画の評価を行う(5年程度の計画)

実施計画

基本計画に基づき、具体的に実施する事業の内容や財源等を示したもの

総合計画とは？

総合計画

- 総合計画は地方自治体の全ての計画の基本
- 地域づくりの最上位に位置づけられる計画

総合計画の構成 基本構想、基本計画、実施計画で構成

まちづくり推進会議で協議

基本構想

佐用町の特性や課題を総合的に考え、めざす将来像とその実現に向けた基本目標や施策項目、施策のおもとを示したもの（10年間の方針）

基本計画

基本構想に基づき、今後推進する主要な施策や具体的な数値による成果指標等を示したもので、成果指標により計画の評価を行う（5年程度の計画）

実施計画

基本計画に基づき、具体的に実施する事業の内容や財源等を示したもの

第2次総合計画(H29～R8)で設定した佐用町がめざす姿

基本理念

○自然と歴史・文化を育み未来につなぐまち

- ・長い歴史の中で育まれてきた地域の多彩な自然、歴史資源や風土、景観を今後も守り、育みながら未来につないでいきます
- ・循環型社会を構築し、地域環境の維持と持続的な発展を目指します

○協働で夢と希望をつくるまち

- ・町民同士の支えあいの中で、連帯感のある地域コミュニティを維持、形成していくとともに、未来を築く子どもたちを育んでいきます
- ・安全と安心のまちづくりのほか、自然、歴史、文化などの地域資源や人材、地域特性を生かし、交流の促進や産業を育成するなど、町民にとって夢や希望をもてる魅力あるまちづくりを進めます

○温かい絆と一人ひとりを大切にするまち

- ・地域コミュニティに根付いた温かい絆をさらに醸成するとともに、老若男女、障がいのある人もない人も、だれもが安心して暮らせる福祉社会と、だれもが生きがいをもって自己実現できる社会を築いていきます
- ・すべての住民が心身ともに健康で、安心して生活できる総合的な保健・医療・介護・福祉体制を確立し、未来につないでいきます

第2次総合計画(H29～R8)で設定した佐用町がめざす姿

基本目標・基本姿勢



総合計画とは？

総合計画

- 総合計画は地方自治体の全ての計画の基本
- 地域づくりの最上位に位置づけられる計画

総合計画の構成

基本構想、基本計画、実施計画で構成

基本構想

佐用町の特性や課題を総合的に考え、めざす将来像とその実現に向けた基本目標や施策項目、施策のおもとを示したもの(10年間の方針)

役場内PTで協議し、作成

基本計画

基本構想に基づき、今後推進する主要な施策や具体的な数値による成果指標等を示したもので、成果指標により計画の評価を行う(5年程度の計画)

実施計画

基本計画に基づき、具体的に実施する事業の内容や財源等を示したもの

第2次総合計画(H29～R8)で設定した基本計画

目標とする人口・世帯

1

活力と交流あふれる きらめきの郷づくり

第1節 佐用の産業と観光・交流を創造する 4

1. 若者定住につながる魅力ある雇用の場の創出	5
2. 農林業の振興	7
3. 商工業の振興	10
4. 観光の振興	12
5. 播磨科学公園都市の整備の推進	15
6. 地籍調査事業の推進	16

自然と歴史・文化を守り生かす きらめきの郷づくり

第2節 佐用ならではの「資産」に磨きをかける 17

1. 自然と共生する環境づくり	18
2. 循環型社会の構築	20
3. 歴史環境の保存と美しい景観づくり	22

未来を支える人を育む きらめきの郷づくり

第3節 佐用を担う人を育て自己実現を支える 24

1. よりよい教育環境の整備	25
2. 生涯学習の振興	27
3. 生涯スポーツ・レクリエーション活動の振興	29
4. 地域文化の継承と創造	30

伴で安心を築く きらめきの郷づくり

第4節 佐用の健康と福祉を創造する 31

1. より充実した高齢者福祉の推進	32
2. 地域医療体制の充実	35
3. 健康づくりの推進	36
4. 子育て支援対策の充実	38
5. 障がい者(児)福祉の充実	40
6. 地域ぐるみで支え合う地域福祉の推進	42

安全で快適な暮らしを創る きらめきの郷づくり

第5節 佐用に住みたい環境を創造する 44

1. 地域の幹線道路網の整備	45
2. 公共交通サービスの充実	46
3. 災害に強いまちづくりの推進	48
4. 安心して暮らせるまちづくりの推進	50
5. 定住環境の整備	51
6. 高度情報通信網の整備	53

協働と共生による きらめきの郷づくり

第6節 地域活動を支え協働を確立する 55

1. 地方自治と町民参画を活性化する仕組みづくり	56
2. 町民参画のまちづくりの推進	58
3. 地域アイデンティティの確立と関係人口の推進	60
4. 開かれた行政の推進	62

第7節 こころの共生社会を実現する 64

1. 人権教育	65
2. 男女共同参画	66

連携と効果的な行財政運営による きらめきの郷づくり

第8節 身の丈にあった行財政運営に取り組む 67

1. 地方分権に対応した行政組織の効率化	68
2. 効率的で健全な財政運営による行財政基盤の強化	70

第9節 広域連携を強化する 72

1. 広域連携を強化する	73
--------------	----

第10節 持続可能な開発目標（SDGs）の推進 74

基本計画とは(もう少し詳しく)

基本計画 (各分野で取組むべき施策)

各分野の現状・課題

- ・子育て分野
- ・健康・医療分野
- ・インフラ
- ・

施策 10年先の姿をめざす



まず5年先の姿をめざす



基本構想

(10年先の佐用町の
めざすべき姿)

重要な視点(例)

- ・やってみたいが叶うまち
- ・楽しくつながるまち
- ・身の丈に合ったまち
- ・安心安全のまち
- ・



ここをみんなで話し合って
つくっていきます

第3次総合計画とこれまでの総合計画からの変更事項

これまで

総合計画

- 地方人口ビジョン
- 地方版総合戦略

別々で策定

これから

総合計画

- 基本構想
- 基本計画

- 地方人口ビジョン
- 地方版総合戦略

総合計画に盛り込んで策定

地方人口ビジョン・地方版総合戦略とは

地方人口ビジョン

各地方公共団体における人口の現状と将来の展望を提示するもので、国の長期ビジョン及び総合戦略を勘案して策定することとされています。

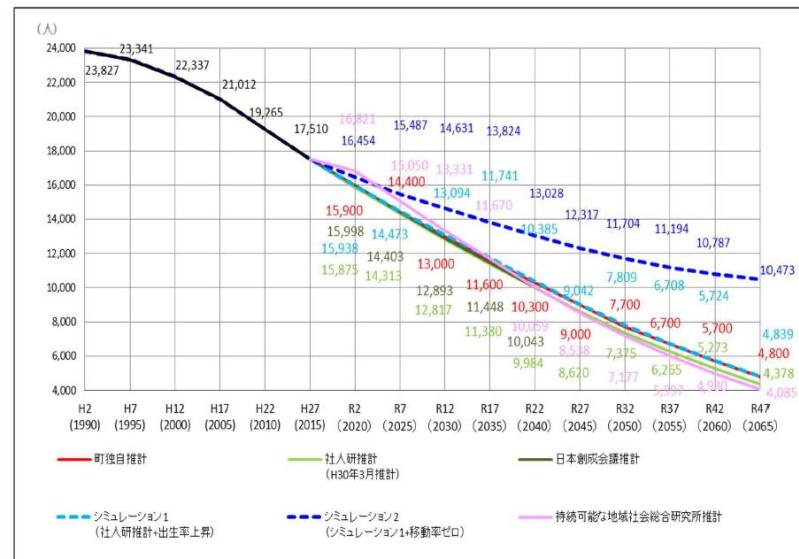
地方版総合戦略

地域の実情に応じた「まち・ひと・しごと創生」（地方創生）に関する施策の基本的な方向等を定めた計画であり、国の総合戦略を勘案し、地方人口ビジョンを踏まえて策定することとされています。

総人口に関する目安：令和22（2040）年に人口10,300人

【参考】令和47（2065）年：4,800人

【参考：令和47（2065）年までの将来展望】



■3つの基本方針

①人口が減っても豊かに幸せに暮らせるようなしきみを作っていく「人口減少への適応」

様々な指標や推計を見る限り、残念ながら人口の数自体が減少していくという事実は、特殊な事情がない限り、おそらく変えることができません。避けられない人口減少に対して、人口が減っても豊かに幸せに暮らせるようなしきみづくりに取り組んでいきます。

②急激な人口減少カーブを少しでもなだらかにしていく「人口減少の緩和」

急激な人口減少が、私たちに多くの課題を投げかけるのは確かなことです。急激な人口減少を少しでも緩和し、ソフトランディング（軟着陸）させていくための施策に取り組んでいきます。

③バランスの取れた夢のある新しいチャレンジ「地域の魅力・元気づくり」

人口減少社会の中にあっても、佐用町に住む方が「夢」や「希望」、「誇り」、「元気」を持って暮らしていくことができるよう、バランスの取れた夢のある新しいチャレンジ「地域の魅力・元気づくり」に取り組んでいきます。

これまでの流れ

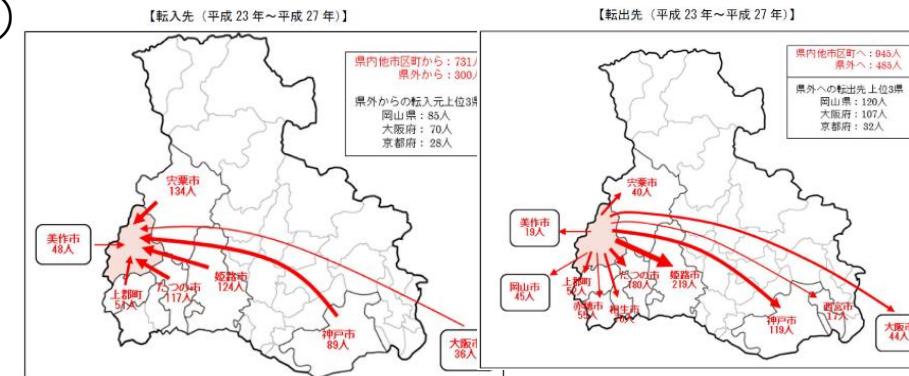
○現在の日本

- ・人口減少社会に突入
- ・国内で人口の奪い合い
- ・便利な都市部に人口移動
- ・地方部は顕著な人口減少
- ・今だ人口増加していた感覚のままの社会観
(大量生産・大量消費、多いことが豊かで幸せ)



○これからの中野町 (H27～人口ビジョン・総合戦略)

- ・不毛な人口の取り合いのテーブルから脱出
- ・人口減少を正面から受け入れたまちづくり
- ・人口減少適応策、人口減少緩和策に取組む
- ・小さくても、少なくとも こころ豊かでしあわせ
と思えるまちづくり



R5～『縮充（縮小しても、充実）のまちづくり』スタート

- 縮充のまちづくり検討委員会：縮充した中野町の姿を想像し、縮充マインド考えてきた
- さようミライカイギ実行委員会：さようの未来について語る

『みんなで考える 縮充のまちづくり Sayo』冊子を作成

まずは、価値観（量が多い=豊かで幸せ）のモノサシを持ち替えることからスタート

今後の佐用町行政に求められること

○面積

変わらない

○人口

減少 

○職員数

減少 

○公共施設
(維持管理費)

増加 

○水道
(維持管理費)

増加 

○町道
(維持管理費)

増加 

○財源

減少 

これからは、

- 少なくなる人材(町人口)
- 少なくなる職員
- 少なくなる財源

をいかに効率的・有効的に活用し

安心・安全な町民の生活

- 行政の業務運営
- 公共施設・インフラの維持・管理
- 町民・団体等の支援・補助
- 住民自治・地域づくり

を守っていくかを考えなければならない。

数字から見る佐用町の状況

- 面積
- 人口
- 職員数
- 公共施設
- 水道
- 町道
- 財政状況

佐用町の面積



○面積:307.44km²

兵庫県下(41市町):10番目の広さ

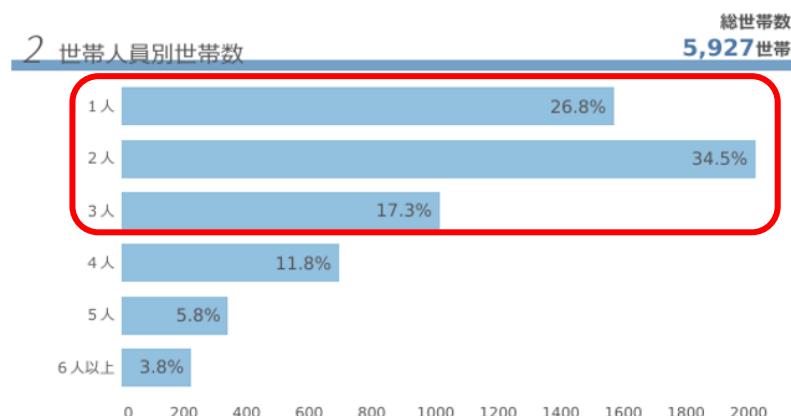
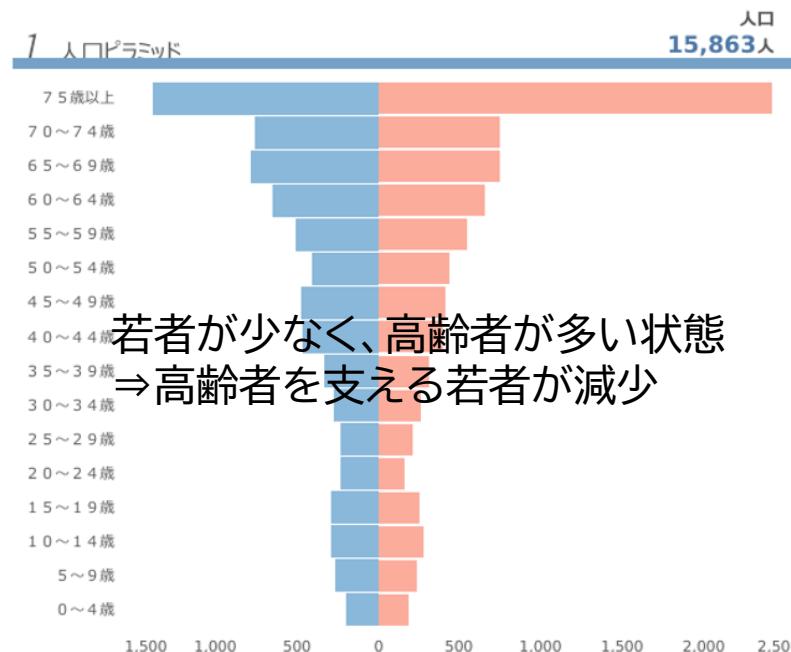
○人口密度:45.7人／km²
(14,075人／307.44km²)

兵庫県下:40番目の低さ

佐用町の人口

2020年度 国勢調査ダッシュボード全国版

【人口ピラミッド・各種世帯数（世帯人員別、住宅所有関係別、住宅の建て方別）データ】



日本全体としても



1950年(1人／12.1人)



2023年(1人／2.0人)



サザエさんのような家族構成世帯【少】



核家族、単身世帯【多】

2070年(1人／1.3人)(見込み)

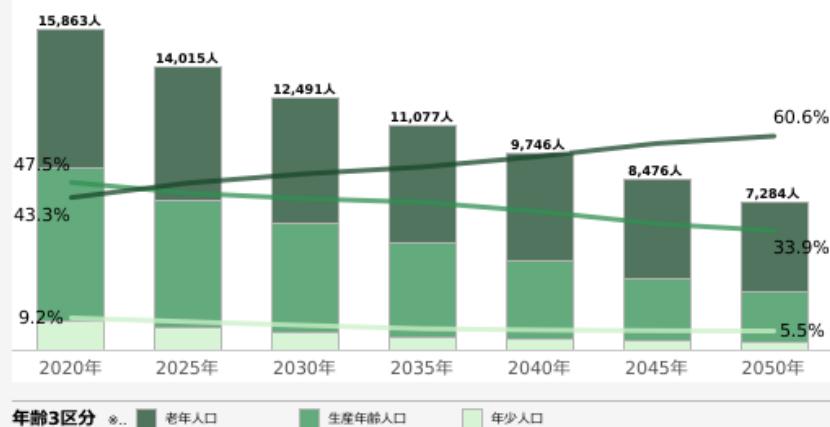
内閣府(高齢化の現状と将来像)

佐用町の人口

(国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(令和5年推計)」)

2 人口推移

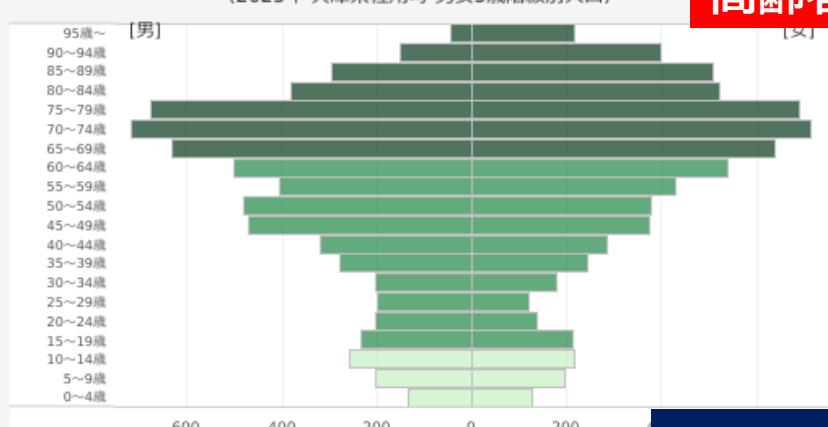
(2020年～2050年 兵庫県佐用町 年齢3区分人口及び割合)



2045年には人口が8,476人
高齢化率:58.5%

3 人口ピラミッド

(2025年 兵庫県佐用町 男女5歳階級別人口)



高齢者人口割合が増加

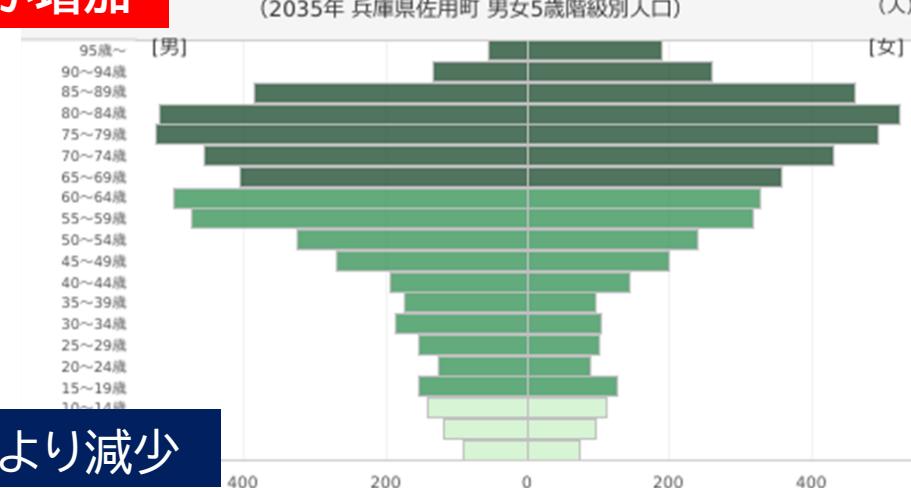
若者の人口割合がより減少

2025年

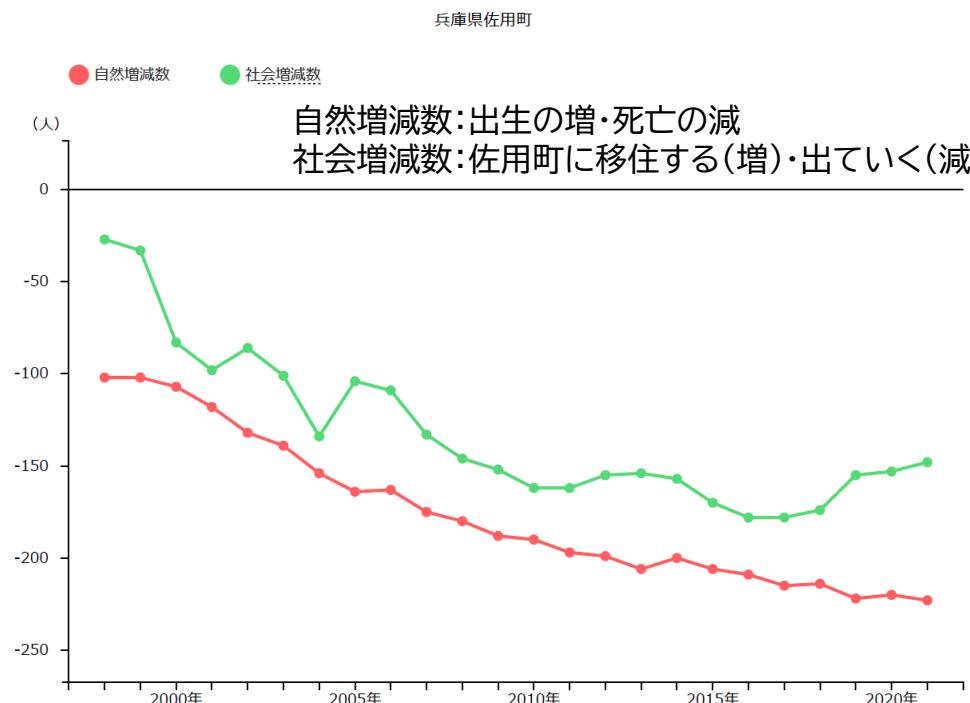
2045年

3 人口ピラミッド

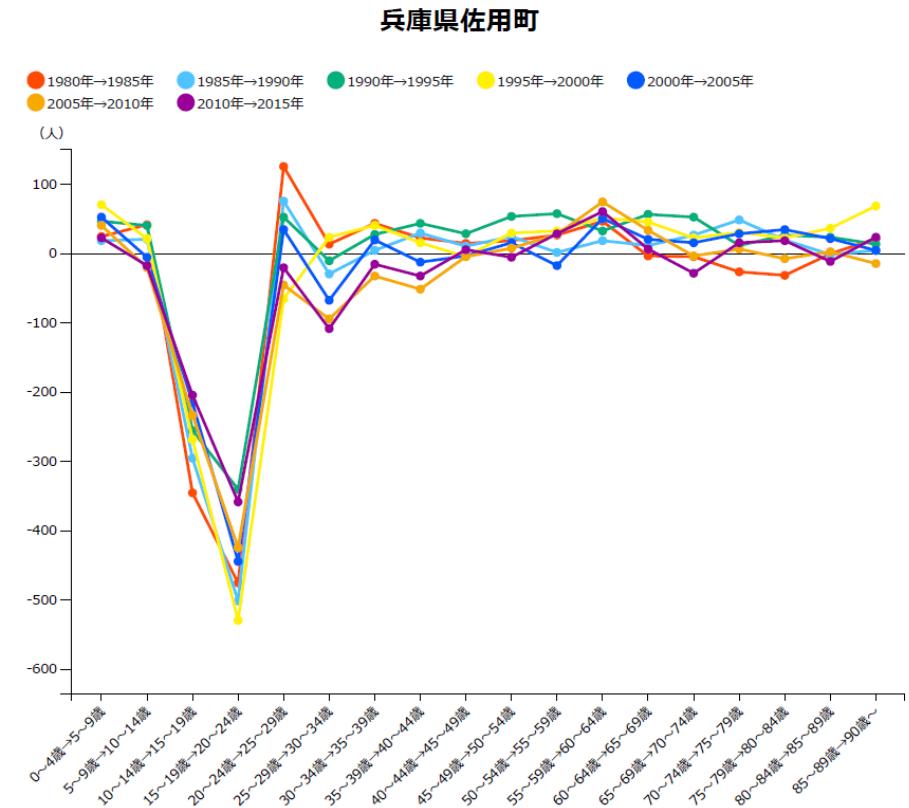
(2035年 兵庫県佐用町 男女5歳階級別人口)



佐用町の人口 (国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(令和5年推計)」)



自然減、社会減が2000年以降ずっと続いている

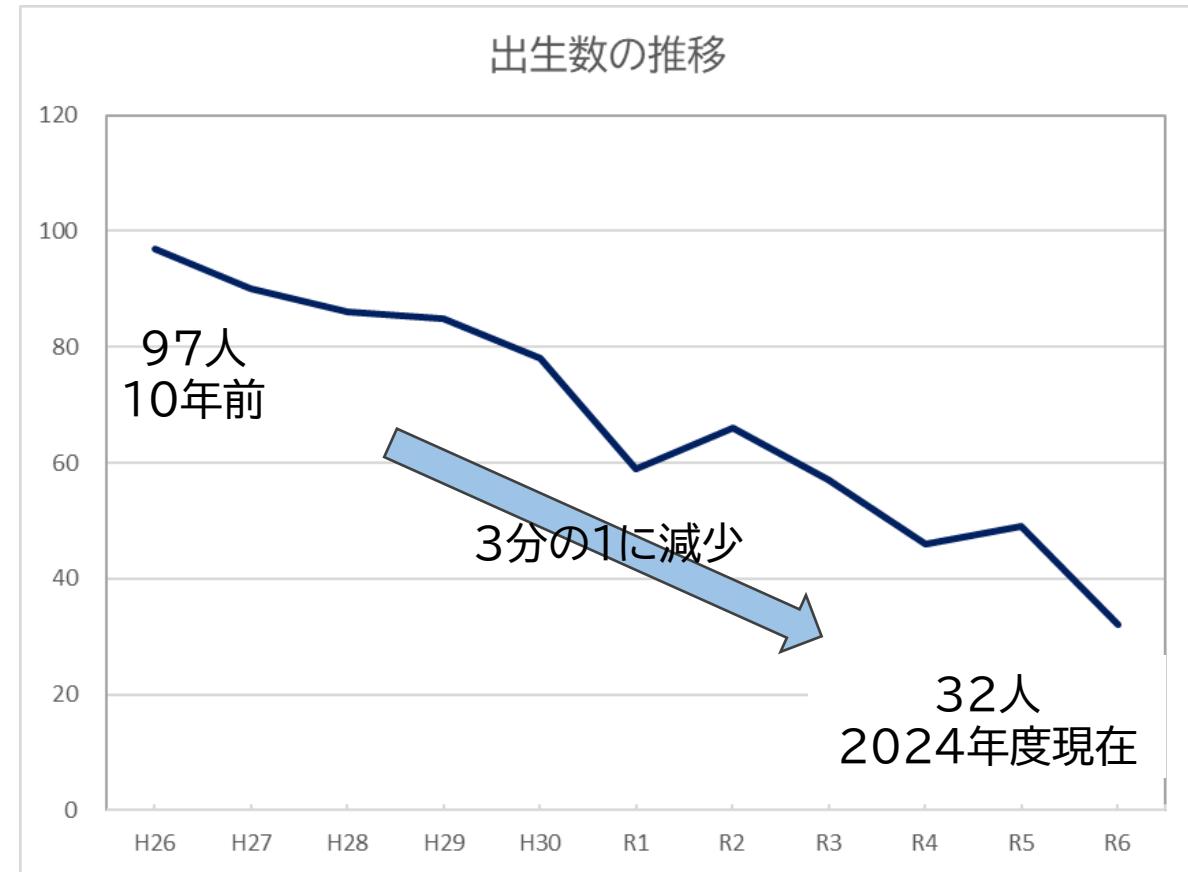


年代別の転入・転出
昔:学生で町外に転出が多いが、就職で戻ってくる人も多い
今:学生で町外に転出すると戻ってこない人が増加

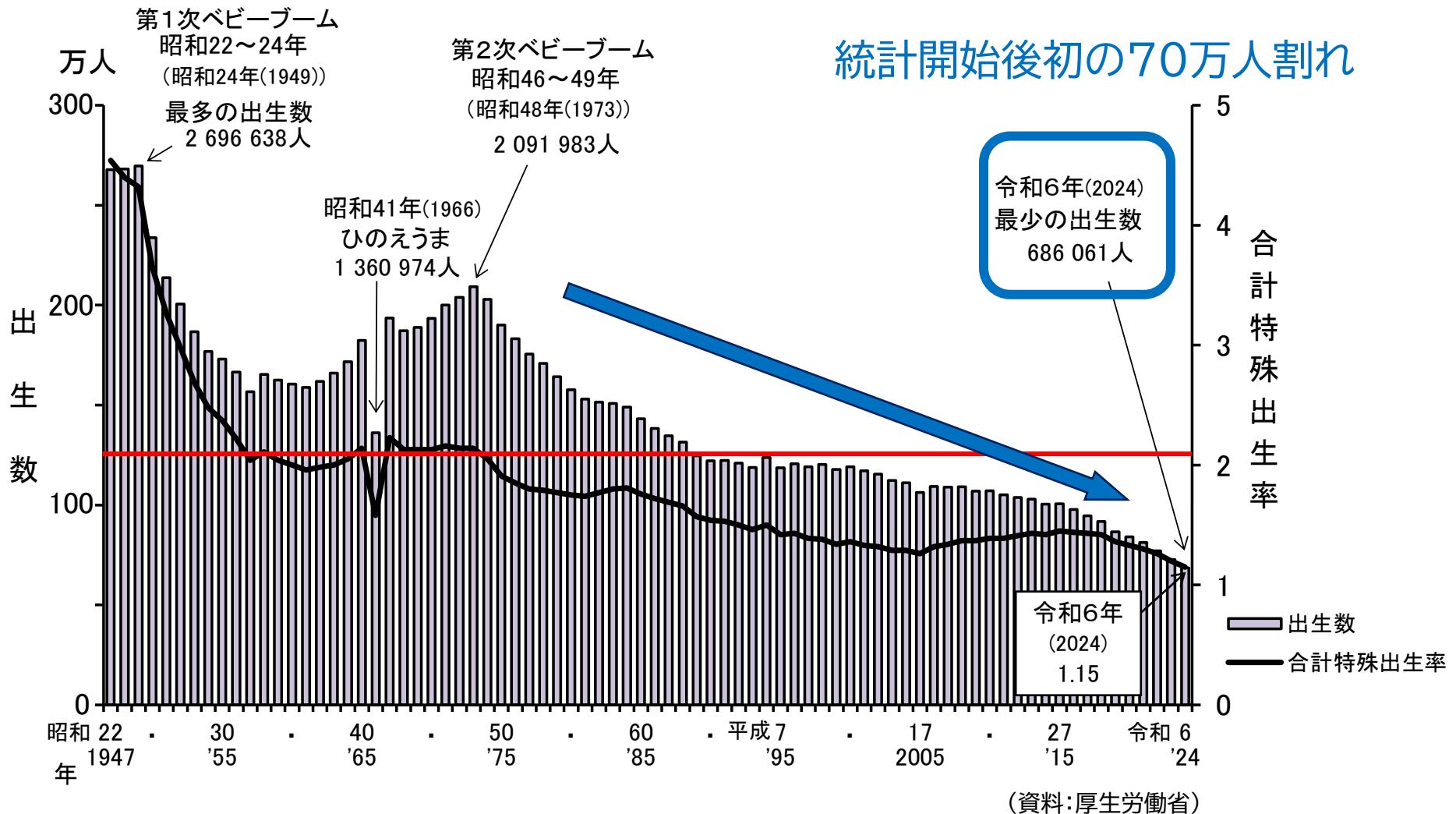
佐用町の出生数

年度	出生数(人)
H26	97
H27	90
H28	86
H29	85
H30	78
H31	59
R2	66
R3	57
R4	46
R5	49
R6	32

※住民基本台帳より



日本全体の出生数

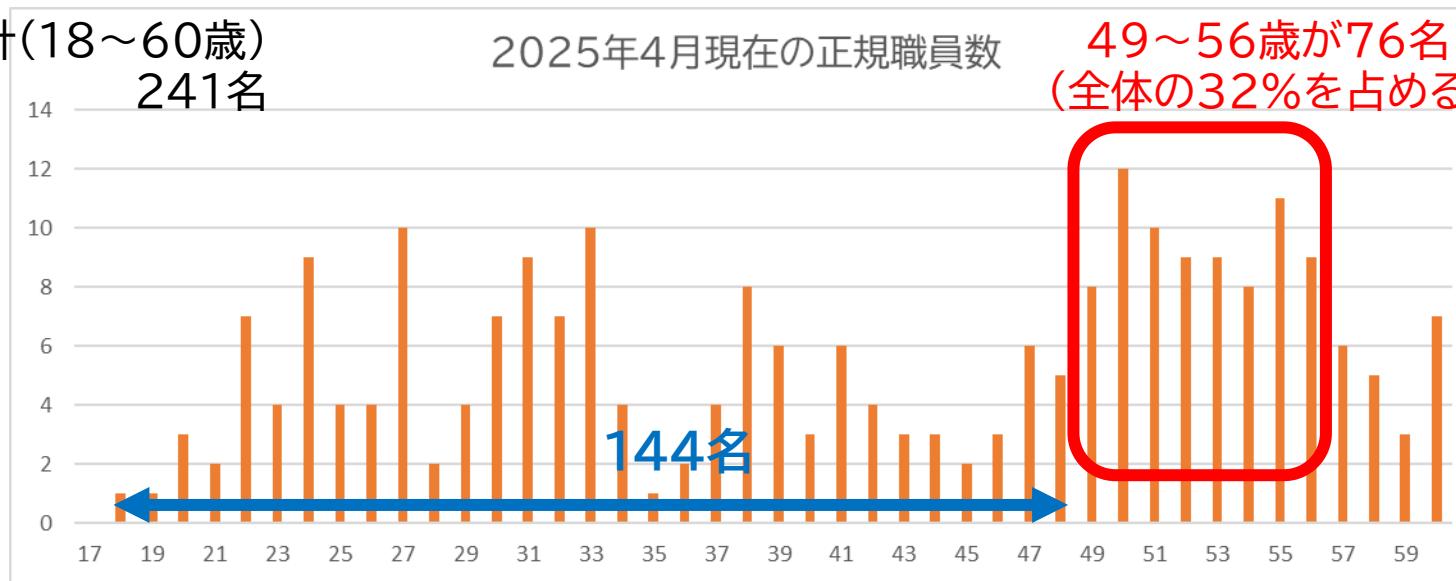


佐用町の職員数(正規職員・会計年度任用職員)

正規職員数合計(18~60歳)
241名

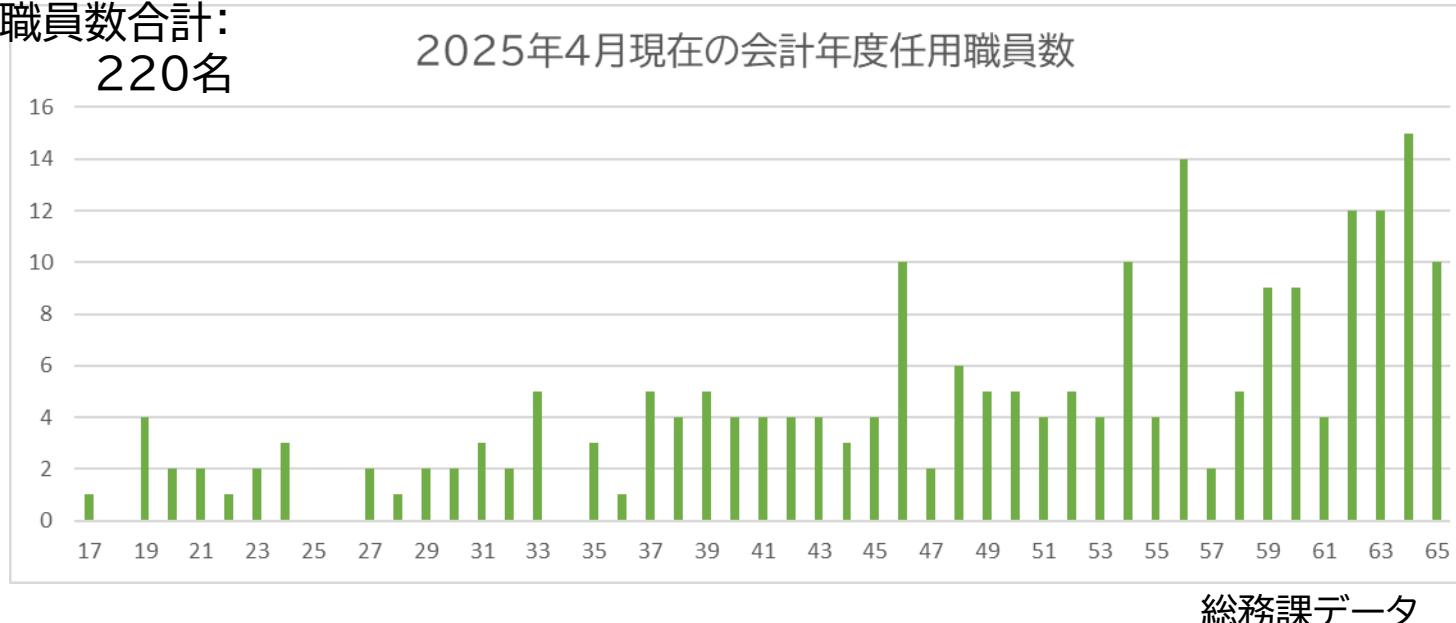
2025年4月現在の正規職員数

49~56歳が76名
(全体の32%を占める)



会計年度任用職員数合計:
220名

2025年4月現在の会計年度任用職員数

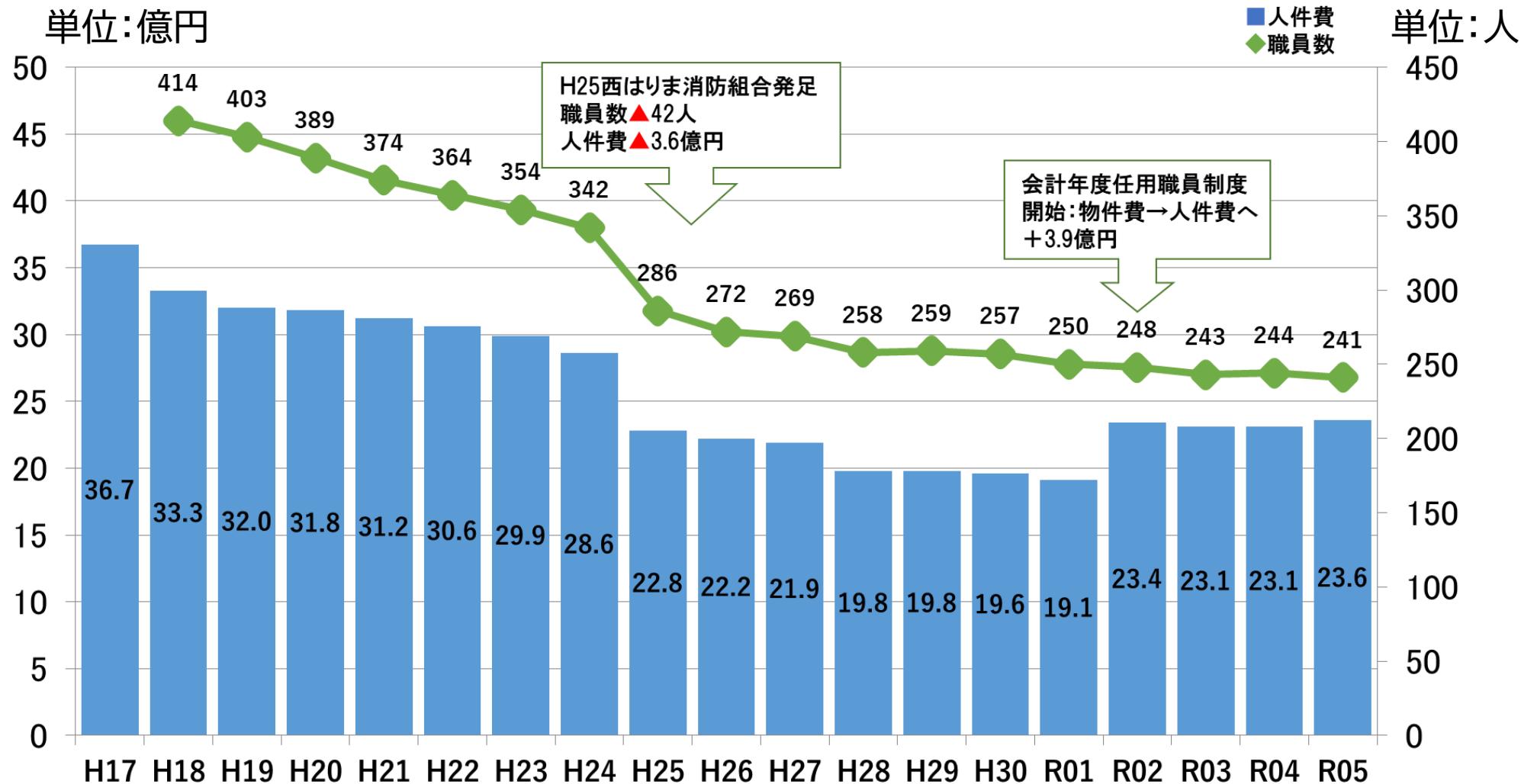


職員事務分掌数の近年比較

年度	部署数	職員数	事務分掌数	職員1人当たりの事務分掌
H29	18	259	1,174	4.53
R2	18	248	1,140	4.60
R7	19	241	1,163	4.83

職員1人当たりの事務量が増加傾向

佐用町の職員(人件費・職員数の推移)



※財政室より

佐用町の公共施設

(佐用町公共施設等総合管理計画より)

○今後30年間で更新が必要な施設

No.	施 設 名	更新 推 楽 年 度
1	西山会館	令和 13 年 (2031 年)
2	教育集会所	令和 20 年 (2038 年)
3	長谷地域交流センター	平成 28 年 (2016 年)
4	江川地区文化センター	令和 20 年 (2038 年)
5	三河出張所	令和 21 年 (2039 年)
6	三日月廣業館	令和 22 年 (2040 年)
7	三日月福祉拠点施設 ほっとちゃん	令和 19 年 (2037 年)
8	上月文化会館	令和 22 年 (2040 年)
9	南光文化センター	令和 25 年 (2043 年)
10	三日月文化センター	令和 21 年 (2039 年)
11	平福郷土館	令和 17 年 (2035 年)
12	昆虫館	令和 12 年 (2030 年)
13	長谷体育館	令和 29 年 (2047 年)
14	平福体育館	令和 12 年 (2030 年)
15	石井体育館	令和 29 年 (2047 年)
16	笹ヶ丘荘	令和 15 年 (2033 年)
17	日名倉山青少年野外活動センター	令和 12 年 (2030 年)
18	佐用小学校	令和 25 年 (2043 年)
19	上月小学校	令和 22 年 (2040 年)

No.	施 設 名	更新 推 楽 年 度
20	幕山体育館	令和 14 年 (2032 年)
21	中安体育館	令和 28 年 (2046 年)
22	三河体育館	令和 25 年 (2043 年)
23	三日月小学校	令和 8 年 (2026 年)
24	佐用中学校	令和 16 年 (2034 年)
25	上津中学校	令和 15 年 (2033 年)
26	三日月中学校	令和 18 年 (2036 年)
27	利神保育園	令和 27 年 (2045 年)
28	三日月保育園	令和 14 年 (2032 年)
29	生きがいづくりセンター	令和 9 年 (2027 年)
30	久崎老人福祉センター	令和 28 年 (2046 年)
31	南光老人いこいの家	令和 22 年 (2040 年)
32	佐用町保健センター	令和 26 年 (2044 年)
33	佐用町役場（本館）	令和 7 年 (2025 年)
34	佐用町役場 第二庁舎	令和 21 年 (2039 年)
35	佐用消防署	令和 18 年 (2036 年)
36	佐用第 2 機動分団車庫	令和 21 年 (2039 年)
37	南光第 1 機動分団車庫	令和 21 年 (2039 年)
38	佐用インター内トイレ	令和 29 年 (2047 年)
39	西山倉庫	令和 13 年 (2031 年)
40	旧特別養護老人ホーム	令和 14 年 (2032 年)
41	旧母子センター	令和 9 年 (2027 年)
42	旧桂隆山荘	令和 12 年 (2030 年)
43	旧城山会館	令和 14 年 (2032 年)
44	西山共同作業所	令和 13 年 (2031 年)
合 計		44施設

佐用町の公共施設

(佐用町公共施設等総合管理計画より)

○町が所有する施設数
143施設、642棟

維持管理費:8,870万円／年

今後30年間での更新費用
合計:201.6億円(6.7億円／年)

総延床面積183,040.49m²(令和3年4月現在)

11.54m²／町民1人(令和2年度国勢調査人口より)

※全国平均3.22m²／人

(公共施設及びインフラ資産の将来の更新費用の比較分析に関する調査結果:平成24年3月総務省)

佐用町の水道施設

(佐用町公共施設等総合管理計画より)

○上水道
約470km

上水道維持管理

維持管理費:3,090万円／年(R2現在)
今後40年推計:384億円5000万円(9.6億円／年)

上水道更新工事

管路更新費:1億8973万円(R6現在)
施設・設備更新費:3億円3214万円(R6現在)

○下水道
約158km

下水道維持管理費

維持管理費:2,450万円／年(R2現在)
今後40年推計:233億円3000万円(5.8億円／年)

下水処理場・ポンプ場・MP場

更新費:1億2320万円(R6現在)

佐用町の町道・橋梁

(佐用町公共施設等総合管理計画より)

○町道延長
690km(1,812路線)

維持管理費:2億3540万円／年(R2現在)
今後40年推計:341億円(8.5億円／年)

○橋梁(2m以上)
675橋

建設から50年を経過する高齢化橋梁
【令和3年時点】
116橋

【20年後には】
596橋(全体の約88%)

維持管理費:2,540万円／年(R2現在)
今後40年推計:125億円2000万円(3.1億円／年)

佐用町内の施設等の維持管理費まとめ

	R2年現在	今後40年 (年平均)	今後40年 (累計)
○公共施設	8,870万円	19億3000万円	769億7000万円
○道路	2億3,540万円	8億5000万円	341億円
○橋梁	2,540万円	3億1000万円	125億2000万円
○上水道	3,090万円	9億6000万円	384億5000万円
○下水道	2,450万円	5億8000万円	233億3000万円
合計	4億490万円	46億3000万円	1,853億7000万円

佐用町内の施設等の長寿命化施策

	今後40(年平均) 対策なし	長寿命化施策	今後40年(年平均) (長寿命化)
○公共施設	19億3000万円	+ 20年長寿命化 施設を5%削減	11億6000万円
○道路	8億5000万円	+ 5年長寿命化	6億4000万円
○橋梁	3億1000万円	+ 20年長寿命化	2億1000万円
○上水道	9億6000万円	+ 10年長寿命化	8億5000万円
○下水道	5億8000万円	+ 10年長寿命化	5億2000万円
合計	46億3000万円		33億8000万円

▲27%

佐用町民一人当たりの単年平均投資的経費

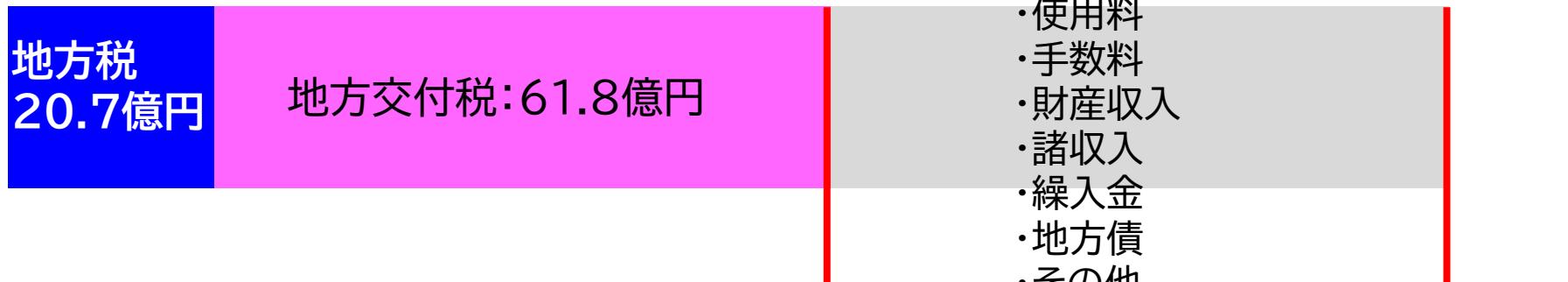
	既往実績(5年)	今後40年推計 (対策なし)	今後40年推計 (長寿命化)
	人口:17,016人	人口:4,800人 (町独自のR47年時点の推計人口)	
○公共施設	31,147円	402,084円	241,667円
○道路	2,588円	177,083円	133,334円
○橋梁	5,877円	64,583円	43,750円
○上水道	8,815円	200,000円	177,084円
○下水道	11,166円	120,833円	108,334円
合計	82,863円	964,583円	704,169円

11.64倍

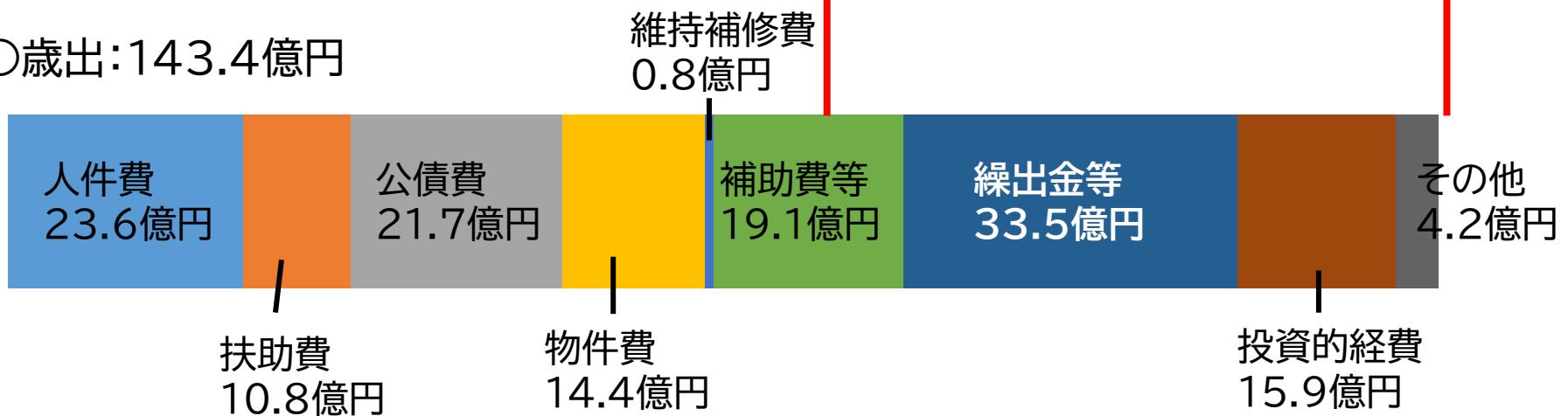
8.50倍

佐用町の財政状況(R5年度)

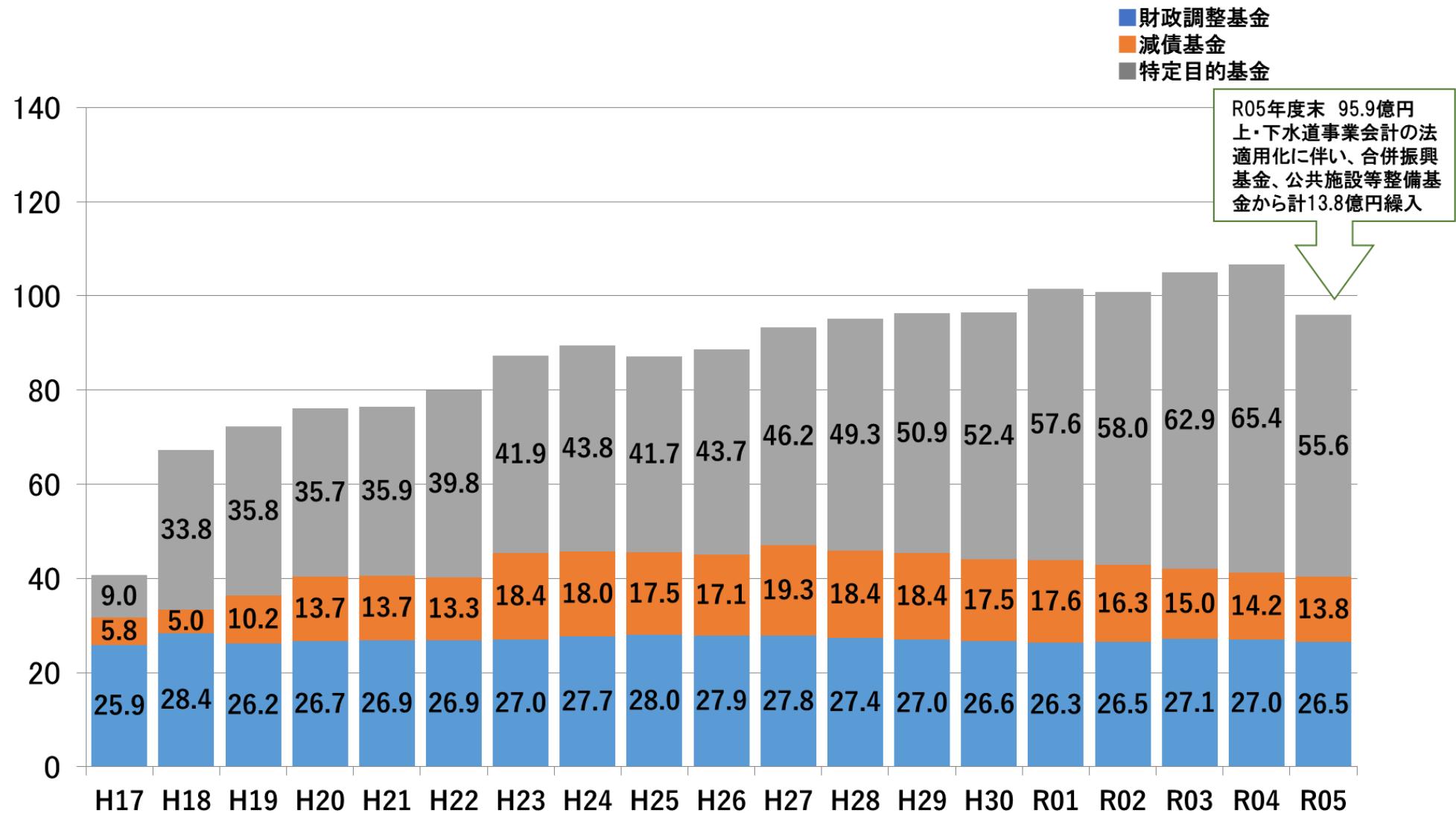
○歳入:144.5億円



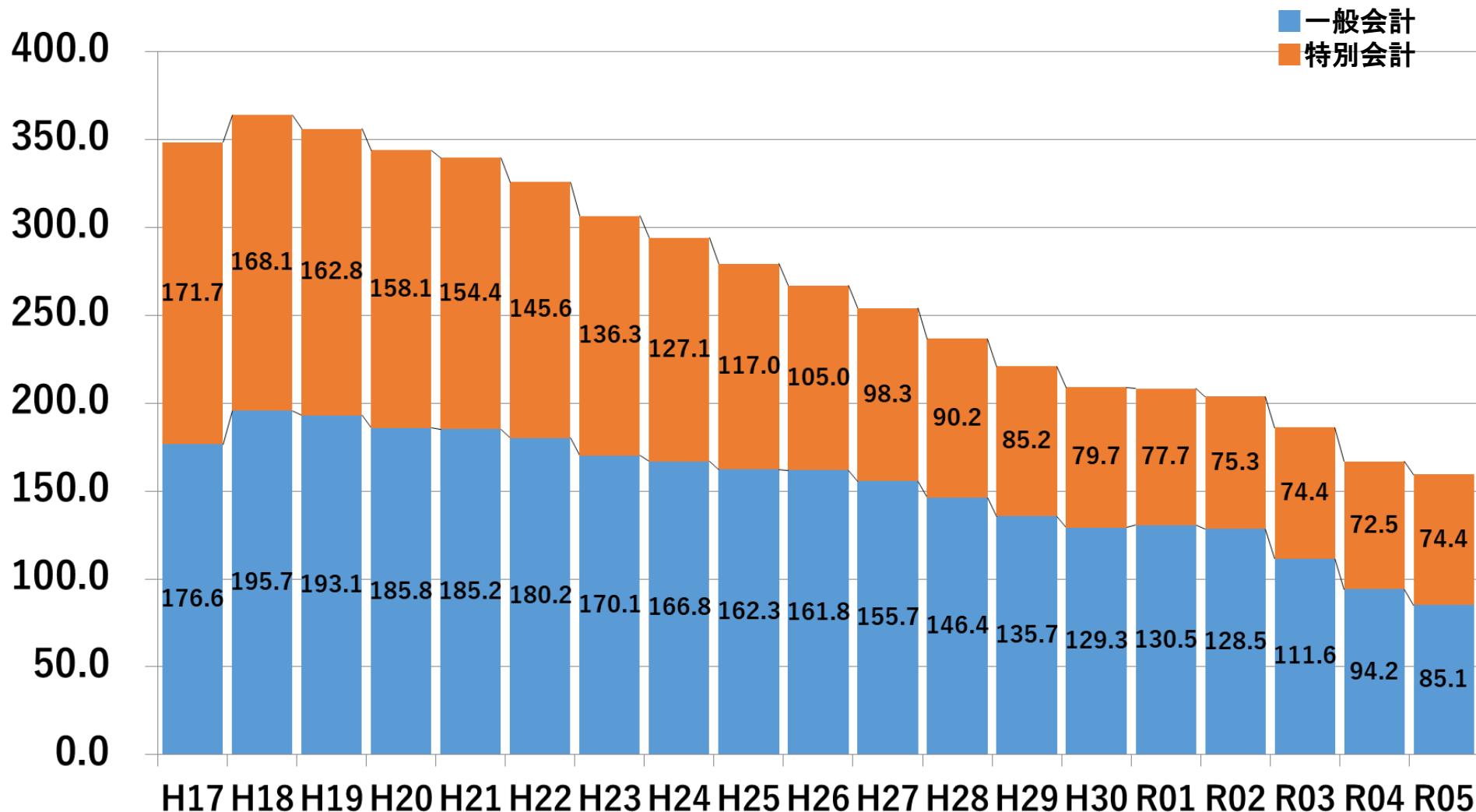
○歳出:143.4億円



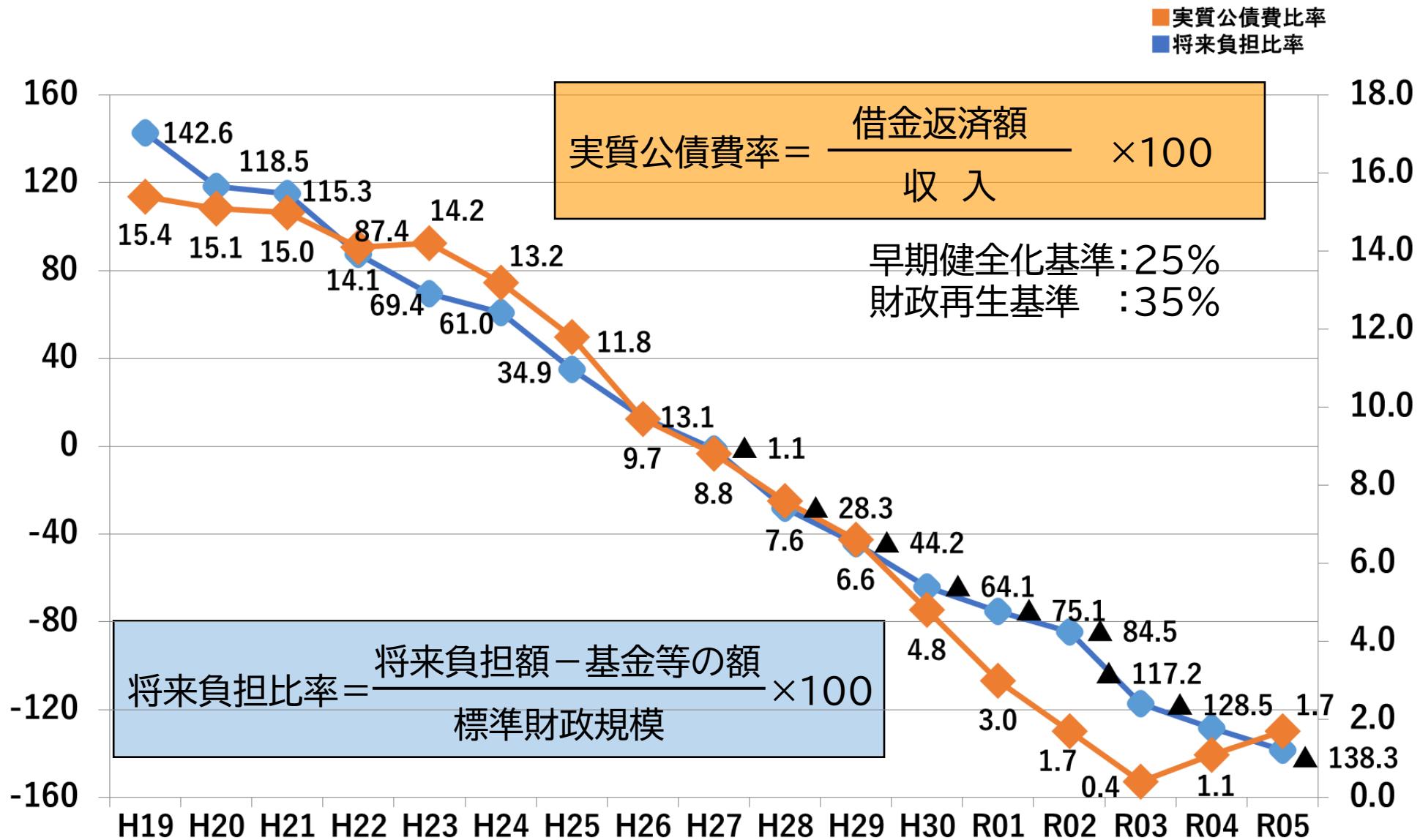
佐用町の基金の推移



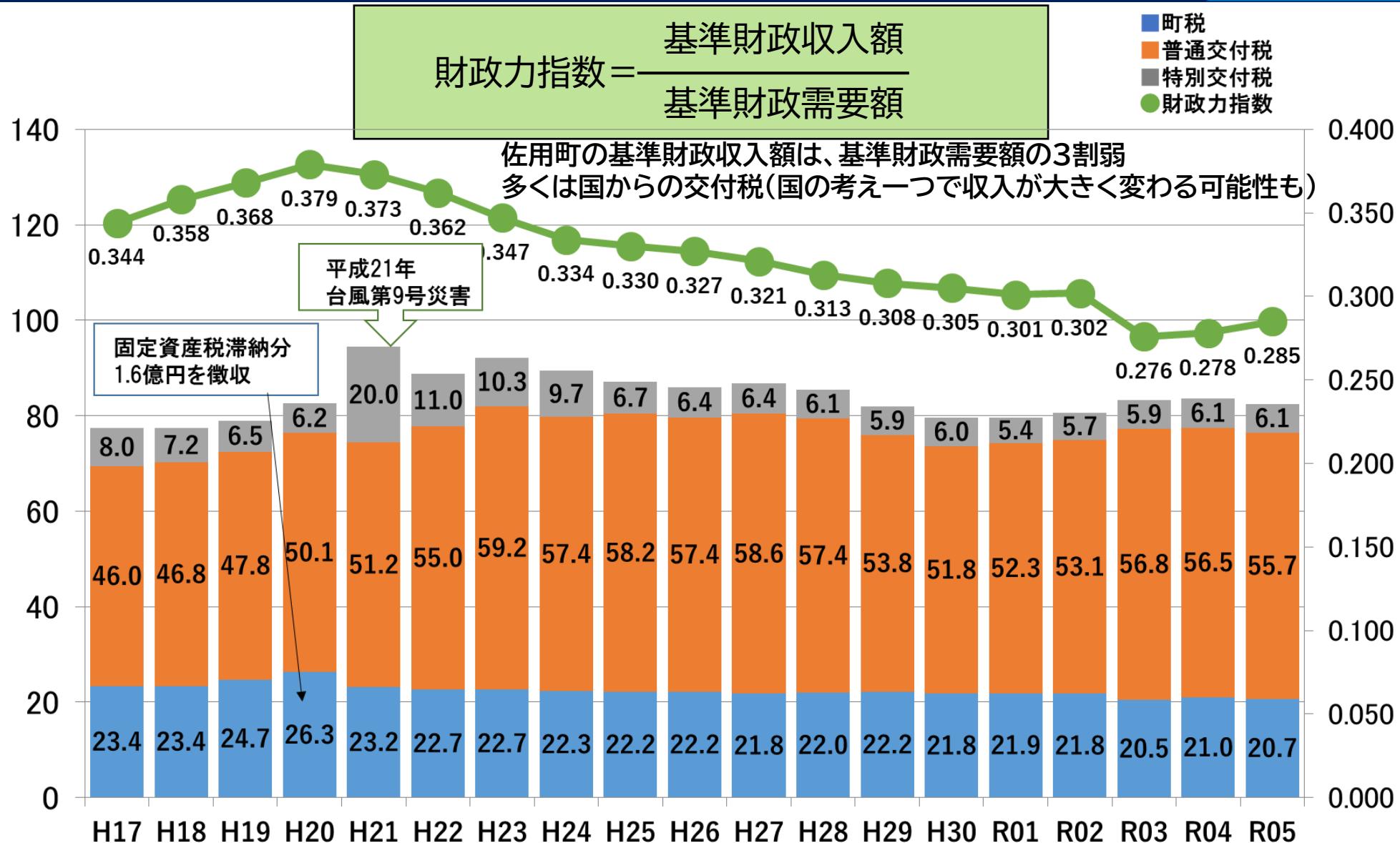
佐用町の起債残高の推移



佐用町の健全化判断比率の推移



町税・交付税・財政力指数の推移



佐用町の主な歳出の推移

○これまでではハード事業(施設等の建設)が進められたため、建設事業費が多い

○今後は、施設等の維持管理に移行していく

公債費
普通建設事業費
災害復旧事業費

